ブラジル経済（マナウス・フリーゾーン（ＺＦＭ）５０年延長法案下院第二回採決可決）

５日付当地主要紙は，マナウス・フリーゾーン（ＺＦＭ：Zona Franca de Manaus）を５０年延長する憲法改正案（ＰＥＣ）１０３/１１号が下院を通過したことに対する各界コメントを報じているところ，右概要以下のとおり。

１．ＺＦＭの延長法案は２０１０年に提出された憲法改正案（ＰＥＣ）５０６号を起源とする。同改正案はＺＦＭの１０年延長を求めてアルトゥール・ネット上院議員（当時）が起案した。２０１１年，マナウス市政記念日（１０月２４日）にマナウス市を来訪したルセーフ大統領が，アマゾナス州民にＺＦＭの５０年延長を約束し，ＰＥＣ５０６号の代替案としてＰＥＣ１０３/１１号を議会に提出した。報告担当を務めたアチラ・リンス下院議員は下院通過に安堵し，義務を全うし使命を終えることができたと述べた。

２．政府上院院内総務のエドゥアルド・ブラーガ上院議員（ＰＭＤＢ-ＡＭ）は，下院議会においてＺＦＭ延長が承認されたことは，政治，経済界，労働者に限らずアマゾナス州全体の勝利であると述べ，上院においてＺＦＭ，情報通信法，自由商業特区（以下ＡＬＣ）の延長が速やかに行われるよう尽力すると強調した。ヴァネッサ・グラジオチン上院議員（ＰＣｄｏＢ）とアルフレッド・ナシメント上院議員（ＰＲ）を加えたアマゾナス州選出の上院議員３人は，上院議会内の採決が緊急議案として取扱われるよう，すでに上院議長や各政党総務との折衝を始めている。緊急議案として手続きが踏まれる場合，３委員会での審議が免除され，７月までに承認される見込みである。

３． アマゾナス州のジョゼ・メーロ州知事（Ｐｒｏｓ）は，アマゾンの真ん中に位置するＺＦＭは地域格差を是正し，雇用と所得を創出し，ブラジル最大の財産であるアマゾン森林を保護するとともに，アマゾン領域におけるブラジルの主権を世界に明示する国家事業であるとして，ＺＦＭ延長の下院可決はアマゾナス州だけではなくブラジルにとって歴史的な瞬間であると位置づけた。また，採決に至るまで全ての当地選出議員が団結して臨んだことを評価した。マナウス市のアルトゥール・ネット市長は，下院議会において困難な議案についての合意は成されたと述べ，上院議会での迅速な可決を見越して，ＺＦＭの今後の課題は知的財産や人材育成，インフラ整備やロジスティックに投資することだと強調した。

４．ＺＦＭとＡＬＣの税制恩典の管理ならびに西部アマゾンの開発を推進する役割を担うマナウス・フリーゾーン監督庁（Ｓｕｆｒａｍａ）のトマース・ノゲイラ長官は，地域発展のために組織の近代化と動態化が必要だと訴えた。

５． アマゾナス州工業連盟（Ｆｉｅａｍ）のアントニオ・シルヴァ会長は下院通過を歓迎したものの，まだ上院議会での採決が残っているとして，さらなる投資を呼び込むために一刻も早く法律上の確実性を得たいと述べた。アマゾナス州工業センター（Ｃｉｅａｍ）のウィルソン・ペリコ会長は，上院における承認が早期にもたらされることが見込まれる今，５０年延長されるＺＦＭの将来性を展望する貴重な機会を手にしている。この５０年でＺＦＭの有益性を最大限に引き出し，次の世代が享受できるよう，ＺＦＭに関係する企業団体初め各企業が戦略プランを策定する必要があると主張した。（了）